

R5年度 高松市立庵治小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

「自ら考え、豊かな人間性と実践力のあるたくましい子どもの育成」
めざす児童像 ～ゆたかな子 たくましい子 かんがえる子 みがきあう子～

【本校の現状と課題】

- ・ 「新体力テストの数値分析の結果（R4年度）」より
 - 新体力テスト（男女別）において、男子は握力と長座体前屈、女子は反復横とびと50m走が県平均を上回っている学年が多い。
 - 男女ともに、20mシャトルランが県平均を下回っている学年が多い。
 - E判定児童の割合が、男子は約11%、女子は約8%である。
- ・ 児童の実態より
 - 多くの児童が休み時間等に屋外でしっかり遊ぶことができているが、屋内で過ごすことを好む児童も一定数いるため、積極的な外遊びを推奨していく必要がある。

【取組み】

あじっこチャレンジ カードの活用

- ・ 竹馬、ホッピング、一輪車等の技をレベル別に設定し、体育の授業や休み時間を利用してチャレンジし、達成できた技をカードに記録する。

なわとび記録会

- ・ 校内なわとび記録会（3分間8の字大なわとび、学年×1分間とび等）を実施し、学級やふれあい班で目標回数達成に向けてチャレンジする。目標を達成できた学級やふれあい班には表彰を行う。

マラソン大会

- ・ 学年別のコース（低学年:500m、中学年:750m、高学年:1000m）を設定し、前年度の記録の更新や自分の立てた目標記録の達成をめざしてマラソンチャレンジをする。

【目標】

- ・ 「新体力テストの数値における目標」
 - 男女とも、20mシャトルランにおいて県平均を上回る学年を増やす。
 - E判定児童（男女別）を、男子は10%以下、女子は5%以下にする。
- ・ 運動に対する意識・運動習慣における目標
 - 外遊びが好きで、進んで体力づくりをするたくましい児童を育成する。